

平成21年9月1日



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

秋田赤十字乳児院

〒010-0041
秋田市広面字釣瓶町100-3
TEL 018-884-1760
FAX 018-884-1762
相談電話 018-884-1761
URL <http://www.akita.jrc.or.jp/nyujiin/>

広報誌 第15号

よちよちちゃん



～ 初めての水遊び ～

泣いた・笑った・一緒に遊んだ・・・

感動と学びの10日間

実習生の夏

実習生として、保育学生と栄養学生、そして、教員免許を取得する条件としての介護等体験の学生を受け入れています。

沐浴・調乳・授乳など乳児院ならではのプログラムを用意しています。運がよければ病院受診の付添いも体験できます。

実習生には、学校で培った技術を養育現場で発揮してもらうのはもちろん、子どもたちとの触れ合いや関わり合いから未来の養育者としての姿を感じて欲しいと思っています。

私たち職員も学生から新しい手遊びを教わったり、若いパワーを得る機会になっています。

未来を担う子どもたちをよろしくお祈りします。



ドキドキの沐浴実習
気持ちよさそうな顔に思わずにっこり



タイミングがなかなか難しい離乳食介助



夏は、やっぱり水遊び 一緒に入りたい気分



部分実習 さかな釣り遊び

《乳児院を選んだ理由》

★秋田県に一つしかない施設ということでもともと興味があった。

聖霊短大 小林

★高校生のとき、青年赤十字の活動でボランティアをして施設の温かい雰囲気を感じた。今度は、保育科の学生として実習してみたいと思った。

聖園短大 三浦



好き嫌いしないでたくさん食べて大きくなって

《人見知りの壁》

★顔を見ただけで大泣きされ、手を差し出せば「いや。」と言われ、どう接したらよいのか戸惑った。おむつ交換や着替えを嫌がって逃げってしまう子がいて大変だった。

聖霊短大 三浦

《初めて》

★沐浴実習は、自分が命を預かっていることを強く実感した。

聖園短大 佐藤

★ミルクを適温にするのが大変だった。一ヶ月の赤ちゃんでもこんなに飲むんだと驚いた。

聖園短大 大山

《感動》

★「おねえちゃん」と呼ばれ抱っこを求められるとうれしさ倍増。

聖園短大 朝香

★私の子守唄で眠ってくれた。

聖霊短大 長谷川

★10日間であんよが出来るようになり、子どもの成長に驚いた。

聖園短大 上村

★自分が作ったご飯を「おいしい。」と言われて、うれしかった。

聖霊短大 加藤

～私も実習生でした～

“積極的に“とわかっていてもできないこともありました。実習生だからこそ失敗は大事。

「がんばれ！あと一步！」

保育士 佐川



保育室から



○子育ての大切なポイントを保育室の中の出来事を通し、紹介していくコーナーです。

Q:1歳4ヶ月のAちゃん。担当への後追い泣きが激しく、部屋を出るのも大変です。このままでいいのでしょうか？

A:アタッチメントのベースはできていますが、十分ではないようです。

子どもは十分に安全だと感じると、いつまでも養育者にしがみついたりはおらず、本来持っている好奇心に従って外界を探索し始めます。子どもが満足するまで、どっしりと構えてくっつきたい気持ちを受け止めましょう。

アタッチメントとは、

日本語で「愛着」と訳されることが多いのですが、必ずしも愛情などの肯定的感情を伴わず、「近接」することです。何かをしてもらえようがもらえまいが関係なく、それ自体を目的として、とにかくくっつきたいからくっつくという性質をもったものです。これは基本的な欲求の一つです。

初めてのものを目にしたり、一人になったり、恐れや不安などを経験した時に、特定の人にしっかりとくっつくことができ、またその人からその崩れた感情（怖い、寂しい、悲しい等）をうまく立て直してもらい、自分が安全であるという感覚を得ようとする行動制御システムです。



ことり



汗を流しての収穫作業。子どもたちにとっては楽しい砂遊びタイム

春に植えたジャガイモの収穫をしました。

土を掘ると、かわいいジャガイモたちがゴロゴロ出てきました。子どもたちはちょっと不思議そうな顔で、大人は童心に返って、バケツいっぱい掘り出しました。後日、ジャガイモたちは、肉じゃがに変身！おいしく頂きました。

ぼんび

食堂を模様替えし、本棚が入りました。

「もうすぐ、ごはんだよ。食堂に行こう」と声をかけると、一目散に食堂に駆け出す子どもたち。ご飯を待つ間、好きな絵本を選んで、読み聞かせをせがみます。読み終わると、何度も「もう一回、もう一回」とアンコールの声がかかります。



「ノンタン」の絵本を読む保育者と子どもたち

ひよこ

手づかみでも、こぼしても1人で食べたい子どもたち。大人と1対1で食べるより、テーブルを囲んで食べると、友だちの真似をしてスプーンを使ったり、カップで上手に飲んだりします。



おいしい笑顔がいっぱい。

7月13日、新生児の男児が入所しました。

「夏、生まれなので、太陽のように明るい子に育ててほしい。」

担当 根田保育士



子どもの病気からみえるもの



今年の子どもたちの病気は、例年のように季節性のものではないようです。寒い時期に多いと言われていたインフルエンザや白色便下痢症（ロタウイルス）が春に流行し、夏風と言われるヘルパンギーナやアデノウイルス、そして、新型インフルエンザに年中罹患するようになってきています。固定概念をはずさなければなりません。これは、冷暖房の普及などによる温暖化が影響していると思われます。



現代人の便利さと引き換えに、環境がどんどん変化して、四季も曖昧です。

今、世界的に環境保護対策が叫ばれています。3R（リリース・リデュース・リサイクル）、車はハイブリッドや電気自動車の開発・普及。森林保護や緑地化への推進など、など。

私たちは未来を担う子どもたちのために、意識してエコに取り組み、元気いっぱい遊べる環境を守って生きたいですね。



看護師長 保坂

もっとクロス

祝 献血ステーション

8月2日、イオンモール秋田店1Fセントラルコート南入口に、県内で2か所目になる献血ルームが開所しました。



土・日も開所しています。なかなか献血の機会がなかった人も、買い物ついでに気軽に献血ができます。人と人をつなぐ献血の大切さと達成感を感じてみてはどうでしょうか。



8月2日秋田ノーザンレッツ R.F.C、F.C 秋田カンピアーレの皆さんから献血にご協力いただきました。

トピックス

大活躍です

赤十字本社から「ロールスクリーン」を頂きました。これで各部屋に設置され、4か所そろいました。日差しが和らいで過ごしやすくなりました。

夏には簡易プールで水遊びや戸外での日向ぼっこ、秋には運動会も開催します。紫外線対策に大活躍です。



すくすく元気です

矢留ライオンズクラブ様より寄贈されたぶどう棚、4年ほど前に3個の実（巨砲）をつけて以来、なかなか育ちませんでした。

今年は、お手入れに力をいれた甲斐があり、すくすく元気に伸びて棚にからむほどになっています。収穫が楽しみです。



編集後記

不順な天候が続くなか、8月の子育て支援サークル「愛あいクラブ」は、お天気に恵まれプール遊びができました。夫のアイデアを取り入れて、バージョンアップしたペットボトルシャワーが子どもたちに大好評。おみやげに何個も持ち帰るほどの人気ぶりでした。ひさびさに夫に感謝です。

(伊藤)